

中学校の社会科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことが分かりました！

合格者の社会の平均点は、55.5点

☆正答率が最も高かったのは、歴史的分野に関する問題です。公民的分野と3分野融合問題の正答率は、昨年と比較して上昇しました。



正答率^(※)の低かった問題を見てみましょう！

<1 地理的分野>では…

- 資料から日本がおもに3か国から輸入している貿易品を判断する問題(1(3))が、33.1%
→ 知識を活用して、多面的・多角的に判断する力が不足
- ロシアの冷帯の都市で建物の多くが高床式になっている理由を、資料を関連づけて説明する問題(1(5))が、19.0%
→ 基礎的な知識を活用し、資料から判断し、読み取る力が不足

地理的事象を覚えるだけの学習にならないよう、生徒の関心を引き出す指導の工夫を行うとともに、生徒が複数の資料を手がかりに、知識を活用して地域的特色を考察し、その根拠を自分の言葉で説明する活動を取り入れましょう！

<2 歴史的分野>では…

- 自由民権運動の開始以前に起こったできごとを判断する問題(2(2))が、31.4%
→ 各時代のできごとの流れを大きくとらえ、理解する力が不足

各時代に起こったできごとの流れを把握させる指導の工夫を行うとともに、生徒が自分の言葉で説明したり、まとめたりする活動を取り入れましょう！

<3 公民的分野>では…

- 立憲主義を答える問題(1(1))が、26.3%
→ 政治に関する基礎的・基本的な知識が不足
- 消費税の特色と税金の制度のあり方について説明する問題(2(4))が、35.9%と14.6%
→ 身近な消費生活における多様な側面について、資料を基に考察し、説明する力が不足

基礎的・基本的な知識のより確実な定着に加えて、現代社会における具体的・体験的事例について、生徒が発表したり、考察したりする活動を取り入れましょう！

<4 3分野融合>では…

- 昭和時代に起こったできごとを判断する問題(1)が、43.4%
→ 各時代の特色や、起こったできごとの流れをとらえる力が不足

各時代の特色を世界の動きと関連づけながらまとめたり、考察したりする活動を取り入れましょう！



「分かる！・できる！」まで教えよう！(授業改善のkeyword)
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

(※)正答率については、合格者4,812人の中から、無作為に抽出した640人(13.3%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題形式			評価の観点			正答率	
			記号 選択	用語 記述	記述	知識 理解	思考 判断 表現	資料 活用 の 技能		
1	1	(1)	南半球に位置する国について理解している。		○		●		86.1	
		(2)	資料を参考に、日本を含めた4か国の地形の特色について判断することができる。	○			●	●	60.9	
		(3)	資料から日本がおもに3か国から輸入している貿易品について判断することができる。	○			●	●	33.1	
		(4)	インドネシアのバーム油の生産量が増えている理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	69.6
		(5)	ロシアの冷帯の都市に高床式の建物が多い理由について、資料を関連づけて考察し、説明することができる。			○		●	●	19.0
	2	(1)	九州地方の産業の特色について理解している。	○			●		79.7	
		(2)	資料から東九州自動車道に関する特色を読み取り、適切な内容を判断することができる。	○				●	81.4	
		(3)	日本の気候の特色について理解している。	○			●	●	58.1	
		(4)	企業AがしょうゆをASEANに輸出しようとしている理由について、資料を関連づけて説明することができる。			○		●	●	76.9
		(5)	「客貨混載」の取り組みがもたらす効果について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア77.0 イ50.7
2	1	(1)	縄文時代の社会の特色について理解している。	○			●		94.4	
		(2)	天平文化の特色について理解している。	○			●		48.0	
		(3)	守護大名と戦国大名の特色について理解している。	○			●		70.5	
		(4)	邪馬台国の女王卑弥呼が、魏に貢ぎ物をおくった理由について、資料を関連づけて考察し、説明することができる。			○		●	●	ア50.9 イ42.9
		(5)	参勤交代の制度が大名にあたえた影響とその意義について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ウ79.6 エ64.9
	2	(1)	寛政の改革を行った人物について理解している。	○			●		75.1	
		(2)	自由民権運動に関するできごとの流れについて理解している。	○			●		31.4	
		(3)	20世紀はじめに労働争議の参加人員や発生件数が増えた理由について、資料から判断することができる。	○			●	●	74.8	
		(4)	太平洋戦争後の国民生活の影響について、資料を関連づけて考察し、説明することができる。			○		●	●	43.5
		(5)	フランス革命が起こった背景について、資料を関連づけて考察し、説明することができる。			○		●	●	ア79.3 イ54.8
3	1	(1)	立憲主義について理解している。		○		●		26.3	
		(2)	新しい人権について具体的事例を通して理解している。		○		●	●	82.3	
		(3)	人権保障を確かにする参政権について理解している。	○			●		71.6	
		(4)	日本の国会における二院制の意義について、資料を参考に考察し、説明することができる。			○		●	●	53.4
		(5)	地域における住民参加について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア52.7 イ44.2
	2	(1)	製造物責任法について理解している。		○		●		72.7	
		(2)	クレジットカードの仕組みについて理解している。	○			●		85.5	
		(3)	グローバル化の中で日本社会が求められる対応について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	71.5
		(4)	税金の公平性について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア35.9 イ14.6
		(5)	商品の価格が変化する理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ウ60.6 エ61.8
4	(1)	昭和時代に起こったできごとについて理解している。	○			●		43.4		
	(2)	時差の仕組みを理解し、正しく計算することができる。			○	●	●	46.0		
	(3)	資料から地方財政の状況を読み取り、判断することができる。	○			●	●	ア58.3 イ45.8		
	(4)	ツェルマットのまちづくりについて、資料を基に考察し、視点を示して説明することができる。			○		●	●	ア66.4 イ53.0	